

# 国立環境研究所が 提供する 連携・普及啓発 ツールについて

2021年8月31日



# A-PLAT Labのご紹介

**課題** 地域気候変動適応センター（LCCAC）が各地域での適応策を検討・実施するにあたり、実務レベルでの情報共有・支援が十分ではない

➡ **LCCAC・気候変動適応センター（CCCA）の担当者間での密なコミュニケーションが必要**



地域の適応を進める上で有用な**情報や知見の集約・共有**を目的としたオンラインプラットフォーム



- ・他センターの事例
- ・専門的/技術的な情報など
- ・適応関連機関の動向

## A-PLAT Labの構成・機能

### ポータルサイト



#### 最新情報の入手

省庁・研究機関の動き、適応関連ニュース等を集約

### Microsoft Teams



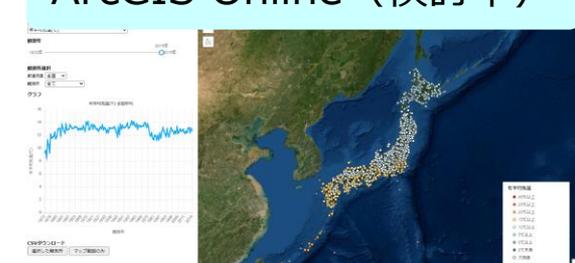
#### コミュニケーション

LCCAC・CCCA間の交流  
LCCACの事例等の情報共有など

#### 情報・データ共有

ファイルの共有・ダウンロードが可能

### ArcGIS Online（検討中）



#### 観測・予測データ

観測・予測データのGIS表示、ダウンロード

# みんなの適応 A-PLAT+ のご紹介

7月8日にAndroid版をリリース

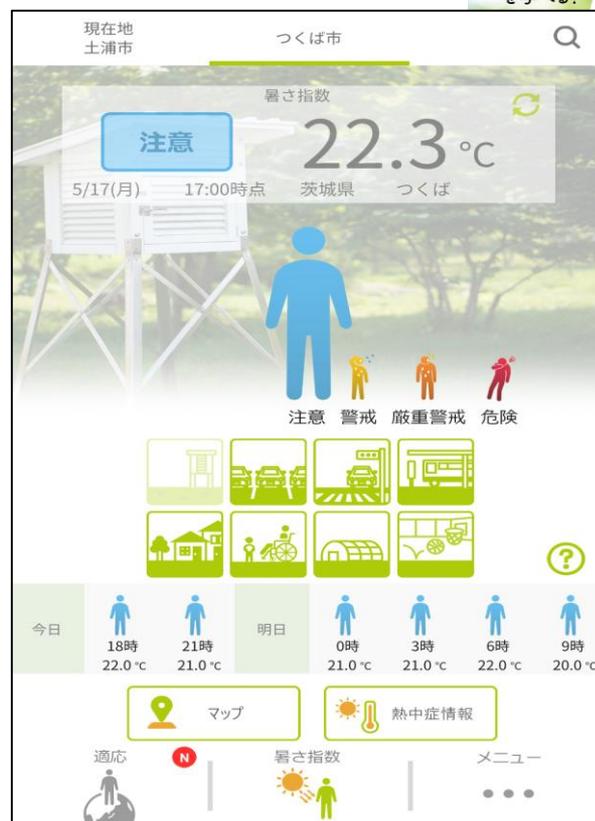
➡ 活用方法、機能追加については現場のフィードバックを元に要検討



Google playストアQRコード

## A-PLAT+の構成/機能

- ・普及啓発コンテンツ(A-PLATより抜粋)
- ・A-PLAT新着情報
- ・暑さ指数配信



# 気候変動適応のミステリー

【ミステリーとは?】⇒ イギリスの地理学教育関係者のグループが企画・開発した学習手法。

ミステリアスな問いかけをもとに、あるテーマに関連しそうな二十数枚程度のカードを、それぞれの関係性についてグループで話し合いながら論理的に並べていく。最後にグループワークの成果を全体に向けて発表・質疑等を行う。

- 未来のためのESDデザイン研究所と国立環境研究所で「気候変動適応」をテーマとしたミステリーを共同開発。地域独自の「ミステリー」を制作することも可能。

ダウンロードはこちら <https://adaptation-platform.nies.go.jp/everyone/study/mystery/index.html>

- 本プログラムの体験により、以下3点のような学びを得ることを企図。

- 1) 気候変動の複雑な要因を理解し、関係性を理解できるようになる。
- 2) 適応策や緩和策にはどのようなものがあるのか、世界や日本の事例を基に学ぶ。
- 3) 地域に合った緩和策や適応策の理解と、地域での実践につなげる。

## 「気候変動適応のミステリー」のプログラム進行の流れ

①ナレーションの読み上げ

②グループでミステリーカードの関係性を検討し説明等を書き加えていく

③グループでの成果発表と質疑・振り返りなど



◆オーストラリア  
ヒトシジマカ等の蚊がウイルスを媒介するデング熱。感染して発症した場合、38℃以上の高熱や頭痛などの症状や、体に発疹が出ることもある。海外に渡航して感染し、国内で発症する例が増加しつつある。2014年の夏に、150例以上の国内流行が発生した。

◆オーストラリア  
気候変動の脅威では、夕食の献立に使う食材がどんどん変わっている。お米の銘柄は「コシヒカリ」から「新之助」へ、大好きなワカメの味付けの回数が減り、おにぎりは、みで巻かれていないことも。ササの価格もアリの増え過ぎにより、デザートのお菓子は、白粉からシヤインズカトに変わった。

◆オーストラリア  
イギリス・ロンドン市内を流れるテムズ川では、高潮による洪水対策計画を立て、将来の海面上昇に備えている。この計画は、21世紀半までを3つの期間に分けて、段階的に変更可能な対策を立てている。この方法は、経済的な負担や自然環境への負荷を減らす効果がある。

\* 3.2のオーストラリアの気候変動の脅威を減らすのが、3.3までを減らすために、以上の気候変動に、順應し対策をする。

【2014年に国内でヒトシジマカが媒介するデング熱が流行した。気候変動の脅威では、献立の種類が変わっているため、大好きなおかずを食べられる回数が減ったり、イギリスのラムズ川では、高潮に備えた洪水対策計画を立てている。】

「なぜ、こんなことが起こっているのでしょうか？」



# 「気候変動適応のミステリー」の活用用途・期待される効果

- 地域における気候変動に関する普及啓発等の出前講座のプログラムとして

⇒ 私たちの身近な暮らしには既に様々な気候変動の影響が及んでいて、思わぬところで色々な問題がつながりあっているのね！何か私たちにできることはあるのかしら？



- 高校・大学でのSDGs、気候変動問題への理解を深める授業のアクティブ・ラーニングプログラムとして

⇒ 既に現代社会の色々な面に気候変動の影響が生じていて、自分たちの将来にも重大な影響を及ぼすんだね。その影響に対応するために今からできることは何だろう？どんな備えをしたら良いのだろう？



- 自治体庁内における気候変動適応への理解を深めるための勉強会・セミナー等のプログラムとして

⇒ 庁内における農林水産業、防災、インフラ、健康関連等の様々な施策には、実は気候変動も大いに関わってくる。既存施策を緩和策や適応策として捉えなおした場合、このままで良いか？より検討や改善が必要なところはあるだろうか？

